

令和7年第1回（1月）筑紫野市議会臨時会

【予算審査常任委員会 委員長報告】

議案第3号 令和6年度筑紫野市一般会計補正予算（第8号）の件について、その審査の経過と結果をご報告いたします。

本件の主な内容は、「ふるさと応援寄附金納付促進事業」において、ふるさと応援寄附金の増額が見込まれることに伴う、受付・配送業務委託料の増額、及び、物価高騰の影響をうけた住民税非課税世帯に対し給付金を支給する「令和6年度住民税非課税世帯への物価高騰支援給付金支給事業」などに係る予算の増額などであり、歳入歳出それぞれ 5億6,742万7千円を追加し、歳入歳出予算の総額を 428億4,436万3千円とするものです。

委員会では、「ふるさと応援寄附金納付促進事業」に関して、寄附額が増加した要因は、との質疑があり、執行部からは、今年度、ポータルサイトを拡充したこと、またポータルサイト上でのPRに力を入れたことなどを寄附額が増えた要因と考えている、との答弁がありました。

また、一委員から、「令和6年度住民税非課税世帯への物価高騰支援給付金支給事業」に関して、物価高騰が続くなか、他の施策を行う議論は行われたのか、との質疑があり、執行部からは、令和6年11月22日に閣議決定された「国民の安心・安全と持続的な成長に向けた総合経済対策」に基づき本事業を行っている。その他の事業については、今後提案を行いたいと考えている、との答弁があり

ました。

続いて、討論に入り、一委員から、政府の物価高騰対策が行き及んでおらず多くの市民が苦心している状況であること、また、所属する「日本維新の会」が掲げる身を切る改革の理念のひとつである「議員報酬の削減」の実践と相いれるものではないという観点から、議員報酬の加算が含まれる本議案に反対するものである、との反対討論がありました。

また、一委員からは、住民税非課税世帯への物価高騰支援給付金支給事業は物価高騰のなか厳しい生活を余儀なくされている方のために早急に可決実施されるべきものであること、また、議案第1号の条例改正内容を予算に反映するものとなっているため本議案に賛成する、との賛成討論がありました。

採決の結果、賛成多数にて原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上、報告を終わります。